

5 教科の目標・学年の目標の系統

小学校 音楽科				中学校 音楽科		高等学校
第 1 学年及び第 2 学年		第 3 学年及び第 4 学年	第 5 学年及び第 6 学年	第 1 学年	第 2 学年及び第 3 学年	芸術科
音楽科の目標	表現及び鑑賞の活動を通して、 音楽を愛好する心情と 音楽に対する感性を育てるとともに、 音楽活動の基礎的な能力を培い、 豊かな情操を養う。			表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、 音楽を愛好する心情を育てるとともに、 音楽に対する感性を豊かにし、 音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、 音楽文化についての理解を深め、 豊かな情操を養う。		芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
	(1)音楽活動に対する興味・関心・意欲を高め、音楽を生活に生かそうとする態度、習慣を育てること 楽しく音楽にかかわり、音楽に対する興味・関心をもち、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。 (2) 基礎的な表現の能力を育てること 基礎的な表現の能力を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。 基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。 (3) 基礎的な鑑賞の能力を育てること 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を育て、音楽を味わって聴くようにする。 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を高め、音楽を味わって聴くようにする。			(1) 音や音楽への興味・関心、生活とのかかわりなどの情意面に関する目標 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を養う。 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 (2) 表現に関する目標 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 (3) 鑑賞に関する目標 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。		「音楽Ⅰ」 音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。 「音楽Ⅱ」 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。 「音楽Ⅲ」 音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

6 学習指導要領における内容の系統 A 表現(1) 歌唱

小学校			中学校		高等学校
第 1 学年及び第 2 学年	第 3 学年及び第 4 学年	第 5 学年及び第 6 学年	第 1 学年	第 2 学年及び第 3 学年	音 楽 I
ア 範唱を聴いて歌ったり、階名で模唱したり暗唱したりすること。	ア 範唱を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして歌うこと。	ア 範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌うこと。	ア 歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌うこと。 イ 曲種に応じた発声により、言葉の特性を生かして歌うこと。 ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。	ア 歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌うこと。	ア 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって歌うこと。
イ 歌詞の表す情景や気持ちを想像したり、楽曲の気分を感じ取ったりし、思いをもって歌うこと。	イ 歌詞の内容、曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。	イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。		イ 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して、それらを生かして歌うこと。	イ 曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。
ウ 自分の歌声及び発音に気を付けて歌うこと。	ウ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌うこと。	ウ 呼吸及び発音の仕方を工夫して、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌うこと。		ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌うこと。	ウ 様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。
エ 互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。	エ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。	エ 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うこと。			エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して歌うこと。
〔共通事項〕					
ア(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。		

A 表現(2) 器楽

小学校			中学校		高等学校
第 1 学年及び第 2 学年	第 3 学年及び第 4 学年	第 5 学年及び第 6 学年	第 1 学年	第 2 学年及び第 3 学年	音楽Ⅰ
ア 範奏を聴いたり、リズム譜などを見たりして演奏すること。	ア 範奏を聴いたり、ハ長調の楽譜を見たりして演奏すること。	ア 範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏すること。	ア 曲想を感じ取り、表現を工夫して演奏すること。	ア 曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して演奏すること。	ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって演奏すること。
イ 楽曲の気分を感じ取り、思いをもって演奏すること。	イ 曲想にふさわしい表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。	イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。	イ 楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏すること。	イ 楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を生かして演奏すること。	イ 楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。
ウ 身近な楽器に親しみ、音色に気を付けて簡単なリズムや旋律を演奏すること。	ウ 音色に気を付けて旋律楽器及び打楽器を演奏すること。	ウ 楽器の特徴を生かして旋律楽器及び打楽器を演奏すること。	ウ 声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。	ウ 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて演奏すること。	ウ 様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。
エ 互いの楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。	エ 互いの楽器の音や副次的な旋律、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。	エ 各声部の楽器の音や全体の響き、伴奏を聴いて、音を合わせて演奏すること。			エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して演奏すること。
〔共通事項〕 ア(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア(ア) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。		

A 表現(3) 音楽づくり・創作

小学校（音楽づくり）			中学校（創作）		高等学校（創作）
第 1 学年及び第 2 学年	第 3 学年及び第 4 学年	第 5 学年及び第 6 学年	第 1 学年	第 2 学年及び第 3 学年	音 楽 I
ア 声や身の回りの音の面白さに気付いて音遊びをすること。	ア いろいろな音の響きやその組合せを楽しみ、様々な発想をもって即興的に表現すること。	ア いろいろな音楽表現を生かし、様々な発想をもって即興的に表現すること。	ア 言葉や音階などの特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくること。	ア 言葉や音階などの特徴を生かし、表現を工夫して旋律をつくること。	ア 音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などを付けて、イメージをもって音楽をつくること。
イ 音を音楽にしていくことを楽しみながら、音楽の仕組みを生かし、思いをもって簡単な音楽をつくること。	イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、思いや意図をもって音楽をつくること。	イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること。	イ 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を感じ取り、反復、変化、対照などの構成を工夫しながら音楽をつくること。	イ 表現したいイメージをもち、音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること。	イ 音素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって音楽をつくること。
					ウ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって変奏や編曲をすること。
					エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ受して音楽をつくること。
〔共通事項〕			ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。 イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。		
ア(7) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア(7) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	ア(7) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。			

B 鑑賞

小学校			中学校		高等学校
第 1 学年及び第 2 学年	第 3 学年及び第 4 学年	第 5 学年及び第 6 学年	第 1 学年	第 2 学年及び第 3 学年	音楽 I
ア 楽曲の気分を感じ取って聴くこと。	ア 曲想とその変化を感じ取って聴くこと。	ア 曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴くこと。	ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。	ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。	ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取って鑑賞すること。
イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと。	イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴くこと。	イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。	イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること。	イ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して、鑑賞すること。	イ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受して鑑賞すること。
ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲や演奏の楽しさに気付くこと。	ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさに気付くこと。	ウ 楽曲を聴いて想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、楽曲の特徴や演奏のよさを理解すること。	ウ 我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴から音楽の多様性を感じ取り、鑑賞すること。	ウ 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、鑑賞すること。	ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞すること。
【共通事項】					エ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴を理解して鑑賞すること。
ア(7) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答えなどの音楽の仕組み	ア(7) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なり、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化などの音楽の仕組み	ア(7) 音色、リズム、速度、旋律、強弱、音の重なりや和声の響き、音階や調、拍の流れやフレーズなどの音楽を特徴付けている要素 (イ) 反復、問いと答え、変化、音楽の縦と横の関係などの音楽の仕組み	ア 音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること。		
イ 身近な音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	イ 音符、休符、記号や音楽にかかわる用語について、音楽活動を通して理解すること。	イ 音楽を形づくっている要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること。		